

# チャペル週報

No.12

2013. 6.24 ~ 6.28

求めなさい。そうすれば、与えられる。  
探しなさい。そうすれば、見つかる。  
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。  
だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、  
門をたたく者には開かれる。

(マタイによる福音書7:7-8)



西宮聖和キャンパス ダッドレーメモリアルチャペル

関西学院宗教センター

---

## ☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 6月24日(月) 神 川 崎 愛 (神学研究科M2)  
経 舟 木 讓 (宗教主事)  
人 人間について考える⑦ 徳 田 真 二 (学生活動支援機構総合支援センター課長)  
聖和 聖書物語「小さなヒーローさんじょう」
- 
- 6月25日(火) ランバスチャペルアワー「ちょっと想像してみませんか？」ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)  
院 ランバスチャペルアワーに合流  
神 ランバスチャペルアワーに合流  
文 永 田 雄次郎 (文学部教授)  
社 Chapel in English: Living as a World Citizen④ Rev. Paul Tolhurst (Anglican priest)  
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)  
経 讃美歌と校歌に親しもう① 関 田 義 之 (経済学部OB)  
商 宮 原 明 (関西学院理事長)  
国 水 戸 考 道 (法学部教授)  
聖和 関西学院聖歌隊  
総 末 岡 成 夫 (三田北摂ルーテル教会牧師)
- 
- 6月26日(水) 神 聖歌隊による音楽礼拝  
社 世界市民として生きる⑤ 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)  
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)  
商 石 森 圭 一 (高等部部長)  
国 平 林 孝 裕 (宗教主事)  
聖和 上 中 脩 (教育学部准教授)  
理 前 川 裕 (宗教主事)  
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
- 
- 6月27日(木) 神 能 勢 岳 史 (神学研究科大学院研究員)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 世界市民として生きる⑥ 打 樋 啓 史 (宗教主事)  
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)  
経 讃美歌と校歌に親しもう② 関 田 義 之 (経済学部OB)  
商 徳 田 真 二 (学生活動支援機構総合支援センター課長)  
国 English Chapel Christian M. Hermansen (法学部教授・宣教師)  
聖和 「賛美に満ちた生き方」Ruth M. Grubel (関西学院院長)  
総 西宮地区BBS会
- 
- 6月28日(金) 神 神 田 健 次 (神学部教授)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 舟 木 讓 (宗教主事)  
人 人間について考える⑧ 今 井 小 の 実 (人間福祉学部教授)  
聖和 「大切な家族」前 田 佳代子 (聖和短期大学専任講師)  
理 音楽チャペル 理工学部アンサンブル
- 

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:00～8:20 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

6月28日(金) 中学部のために

安 田 栄 三 (中学部長)

---

# チャペルアワーのひと時の大きさ

松 見 淳 子

入学式が無事終わり、新学年が始まった最初の週の火曜日、木曜日、金曜日に、私は学部長として文学部のチャペルアワーで新生に挨拶する機会をいただいた。春学期1週目の文学部のチャペルアワーは、ルスターホルツ宗教主事のご指導の下、讃美歌、聖書からの朗読、祈祷、文学部長のスピーチ、讃美歌という流れであり、チャペルは新生と参加している上級生たちを穏やかに包み込むような雰囲気であった。短い時間に何を話すのがよいだろうかと考えた末、私は二つのことを話すこととした。一つはランバス記念礼拝堂の前にある掲示板に書道部員の毛筆で定期的に変えて掲示されている聖書の一節について、そしてもう一つは私の授業での学生との出会いについて。これら2つを、当日の聖書からの朗読にできるだけ結び付けて、新生にチャペルで語りかけてみたいと考えた。

初日4月9日はマタイによる福音書13章1-9節「種を播く人」、11日は同じくマタイ5章43-48章「完全な愛」、そして12日はルカ15章1-7節「見失った一匹の羊」のテーマであった。それぞれの意味を深く考えるよりも、それらに相通じるような心に沁みたエピソードを語るようにした。そして、3日間のチャペルアワーを終えた翌週の夕方、チャペルアワーに毎回参加して学部生を支えている補佐の新井さんが、新生の感想文を束にして研究室まで持って来られた。夕方のひと時、私は、全員の感想を一気に読んだ。「チャペルは初めての体験だった」、「身がひきしまる感じがした」、「身近な人に率直になろうと思った」、「自分に蒔かれた種はどのように成長していくのか、土地を耕しておきたい」、「とても心がおちついた」、「自分が何のために関学で学びたいと思ったかを改めて考えさせられた」など、どれも新鮮で率直な内容であった。入学した学生も関西学院の宝であり、「誰かに見守られていると思うことができた」と述べた学生たちに、心身ともに豊かで健康な大学生活をおくってもらいたいと願っている。

(文学部長)

## ●2013年度大学主催春季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights ― 人権文化を育む（2010～2014年度）

1. 日 時：6月28日（金）午前11時10分～午後0時40分  
場 所：神戸三田キャンパス II号館 201号教室  
講 師：東 小雪（ひがし こゆき）氏（LGBTアクティビスト）  
題 目：「同性パートナーと生きる」
2. 日 時：6月28日（金）午後3時10分～午後4時40分  
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール  
講 師：東 小雪（ひがし こゆき）氏（LGBTアクティビスト）  
題 目：「同性パートナーと生きる」

講師紹介<東 小雪・ひがし こゆき>

LGBT アクティビスト。元宝塚歌劇団花組男役あうら真輝。2010年秋に芸名とセクシュアリティをカミングアウト。2013年3月東京デイズニューリゾートにて、日本のデイズニーとしては初となる同性結婚式を挙げ、国内外のメディアに大きく報じられる。現在はテレビ・ラジオ出演、コラム執筆、セクシュアル・マイノリティ/LGBTに関する講演活動やイベント開催など、積極的な情報発信を行っている。

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。（18:00～18:20 1405教室）

- 6月28日（金）Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）
- 7月5日（金）田淵 結（教育学部宗教主事、宗教総主事）
- 7月12日（金）Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）
- 7月19日（金）樋口 進（宗教センター宗教主事）

## ●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

## ●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会の（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

## ●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。